



輝かしい新年を迎えて



宗谷南農業協同組合
代表理事組合長 向井地信之

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご家族揃って気持ち新たに輝かしい新年を迎えられたこととご推察致します。

昨年中は、農協事業運営に多大なご支援、ご協力を頂き感謝申し上げますとともに、各関係団体、企業、町内外の多くの皆様にも事業をご利用頂いたことに厚くお礼申し上げます。

昨年は、気候変動による猛暑や豪雨、円安による燃油・資材高騰などが継続的に続く中、外国人インバウンド需要により、訪日外国人観光客の継続的な増加や、さらには観光客の消費行動による経済活性化が継続的にみられました。しかしながら、我々農業経営においては、終わりの見えない国際競争などによる飼料・肥料をはじめとする生産資材、燃油の高騰、気候変動による猛暑や豪雨での農畜産物被害など、今も厳しい酪農情勢が続いております。

11月に組合員懇談会の開催では令和8年度の営農計画作成の基本方針、Aコープ及びATM

の閉鎖等の説明をさせて頂きました。昨年に比べて各酪農支援が減少しましたが、乳価については単価が上がっており、昨年に比べると所得向上傾向にあります。次年度の営農計画書作成も、昨年同様に物価変動に対応した乳価形成が確立されていない状況となっており、不安な年度末を迎えるものと推察しております。

そのような中、昨年7月に実施された参議院議員選挙において、全国農業者農政運動組織連盟が推薦した東野ひでき氏を、組合員・JA青年部・JA女性部・JA役職員の皆様のご支援により国政に送り出すことができました。

今後も、改正基本法により基本理念として位置付けられた、国民一人一人の食料安全保障の確保や環境と調和のとれた食料システムの実現、持続可能な北海道農業の確立に向けて、組合員・JAの声を国政に届ける活動を継続して参ります。

当組合の出荷乳量は、令和7年（クミカン等年度）5万2167トン前年比△339トン、99.3%となりました。

昨年は猛暑もありましたが平年並みの気候となり、安定した品質の粗飼料が確保出来たものの、温暖化や気候変動等により、昨年もサルモネラ菌の発症が確認され、離農による生産者戸数の減少もありましたが、戸々の農家生産乳量増加もあり昨年並の生乳生産となりました。今後も生産者戸数の減少は避けられませんが、この厳しい状況の中で、今年度予定していた「枝幸町就農者誘致促進セミナー」を3年振りに開催

道内外から農業を目指す受講生の参加や関係機関等が参集しました。

今後も継続、発展した就農者誘致活動や外国人の雇用も視野に入れながら農地を有効利用し、農地に見合った規模拡大や新規就農者誘致を行い、地域産業の維持拡大の取組を継続します。で、相談等がありましたら、営農部や農地・育成就労・就農対策支援室まで相談して頂ければと思います。

クミカン等については、乳価の上昇や個体販売の価格安定もありましたが、飲用乳の消費低迷による、脱脂粉乳の在庫過多についても懸念材料となります。今も続く国際競争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが経営の経費を圧迫してしまいましたが、組合員皆様方のご努力もあり、厳しい酪農情勢の中、昨年同様のクミカン精算の状況となりました。

令和8年度の営農計画書の作成については、昨年同様費用価格の高騰により厳しい組合員もおられますが、乳価につきましては、前年計画より単価は上昇しており、乳量については前年度実績を考慮し本年度生産可能な乳量計画でほぼ計画書の作成は完了しています。常日頃より経費節減を図って取り組まれているとは思いますが、更なる「節電・節水・節油」を念頭に置き、このような厳しい酪農情勢に対して一層の取組をして頂き、この苦境を乗り越えて頂きたいと思っております。

組合員の皆様には常に所得の向上のため、

生乳の生産が基本であり、良質粗飼料の確保のための土地基盤整備、乳用牛の健康維持のための飼養管理の徹底が重要な課題と思っており、農地の有効利用を行い、将来の強固な安定経営を目指すためにも、制限はありますがクラスター事業参加、スマート農業への取組や、労働力確保の取組を同時に行い、牛舎新築・増築等の施設投資に取組んで頂きたいと願っております。

公共育成牧場につきましては、この育成牧場の建設趣旨である労働力軽減と枝幸町酪農・肉用牛生産近代化計画に基づいた生乳生産の増産を目的とした施設として、組合員皆様の趣旨ご理解の上、引き続きご利用頂きますようお願い申し上げます。

当組合の令和7年事業年度末まで残り2ヶ月を切りましたが、年度末収支見込につきましては、昨年並みの収益が見込まれる見通しですが、信用事業の収益に直轄する奨励金の通減により厳しい状況が予想され、かつ酪農経済についても厳しきは続いており、今後も現状の酪農情勢が続くものと思われ、組合運営も次年度以降厳しい状況を迎える事と推察しております。

また、懸案事項とされておりましたAコープについては、令和7年度末を以って営業を終了し、今後も組合員の減少、定年退職等による職員の減少もあることから組合員のご理解を頂き、業務の効率化に向け対応をして参ります。

今年、第31回J A北海道大会実践2年目となり、「食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立」、「J Aの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立」、「アグリアクション北海道の推進による農業・食・J Aへの理解醸成」の3つのビジョンの実現に向け、農業情勢は厳しい状況の中にありますが、協同組合運動の原点である組合員との対話活動を一層強化し、協同組合の理念と精神を組織結集力につなげ、相互扶助の精神に基づき、力強い農業と豊かな魅力ある農村を実現していくために、生産現場の行動変容と組合員の意思結集による農政運動、J A経営管理の業務効率化・生産性向上・所得向上に取り組む必要があります。

消費者に対してはJ Aグループ北海道統一の情報発信フレーズ「アグリアクション北海道」を浸透させ、「国消国産」の認知を広めて、今以上に農業・食に対する理解を求め安定経営を目指すことが重要と考えます。

最後になりますが、令和8年度の事業計画の更なる飛躍をめざし、役職員で努力して参ります。また暫らく冬期間が続きますので病気、ケガ、事故に十分注意頂き、全組合員が常に前進する事を願い、この1年も皆さまにとって満足できる年となることを心からお祈り申し上げます。新年の挨拶と致します。



宗谷南農業協同組合

- | | |
|-------------|--------|
| 代表 理事 組合長 | 向井 信之 |
| 理事・総務委員長 | 下山 勲 |
| 理事・業務委員長 | 小野寺 俊一 |
| 理事・営農生産委員長 | 吉田 明彦 |
| 理事・業務副委員長 | 小林 政夫 |
| 理事・営農生産副委員長 | 筒井 正道 |
| 理事 兼 参事 | 浜田 和幸 |
| 理事 兼 金融共済部長 | 竹内 浩文 |
| 代表 監事 | 平田 勝一郎 |
| 監事 | 寺前 吉幸 |

他 職員一同

令和8年の年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会
代表理事会長 樽井 功

新年あけましておめでとございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業については、春先から天候に恵まれ、各作物の生育は全般的に平年よりも早く進んでおりました。しかしながら、夏場は猛暑・豪雨による記録的な高温多湿の影響を受け、各作物等の収量および品質に影響が出た年となりました。

近年、気候変動等による自然災害の多発や栽培適地の変化、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが農業経営に甚大な影響を与えており、農業・農村を取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。この様な状況の中、昨年7月に実施された参議院議員選挙において、組合員・JA役職員をはじめとする多くの皆様のご支援をいただき、全国農業者農政運動組織連盟が推薦した東野ひでき氏を国政に送り出すことができました。

この一步を重要な礎とし、改正基本法により基本理念として位置付けられた、国民一人一人の食料安全保障の確保や環境と調和のとれた食料システムの実現、持続可能な北海道農業の確立に向けて、組合員・JAの声を国政に届ける活動を継続してまいります。

JAグループ北海道は、今後とも組合員との対話活動を一層強化し、協同組合の理念と精神を組織結集力につなげ、組合員の皆様が夢と希望を持つて営農と生活が続けられる環境を整え、「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」の実現に全力で取り組んでまいります。

結びになりますが、本年は午年です。午年はエネルギーと行動力が高まり、挑戦や成長の機会が得られる年とされています。この謂われにあやかり、本年が北海道農業の更なる飛躍の年となることと、皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げます。



令和8年の新年ご挨拶



J.A.宗谷南青年部
部長 山崎 紀幸

新年あけましておめでとございます。

年頭に当たり、謹んでご挨拶申し上げます。旧年中は、部員、並びに組合員の皆様、ご家族の皆様、また宗谷南農業協同組合を始め各関係機関の方々には、日頃の青年部活動に對しましてのご理解、ご協力を賜りましたこと、改めて厚くお礼申し上げます。

令和7年を振り返りますと、参議院選挙においてJAグループとともに道青協で応援しました「東野秀樹」氏が見事初当選を果たし、これからの6年間、農家の代表として国政で活躍して頂ける事を期待しております。

牧草収穫では、一番草の収穫時期には今までのにないほどの好天が続き、良質な粗飼料を確保することが出来たかと思いますが、二番草収穫時は干ばつ、その後の天候不順で粗飼料確保には大変苦慮された年となったのではと思われまます。

また、全国各地でクマによる被害が相次ぎ、幸い当町では人畜に被害はなかったものの、牧草地でクマによる掘り起こしの被害が散見され、今年度の粗飼料収穫が心配されます。

国内の酪農情勢は、飲用乳価等の値上げの一方、牛乳・乳製品の消費が伸び悩み、脱脂粉乳の在庫過多が懸念されますが、生乳生産に励みとなる乳価となったことで、安定した経営基盤となる生乳増産に努めたいと思います。

青年部の活動としては、「デイリーフェア」が2年越しに好天のもと開催出来、幼稚園児、小学生を招いて子牛の哺乳体験やトラクターの乗車、ベビィショウによるリード体験など、酪農に興味と感心を持ってくれたのかと思います。また、他に各イベントに参加し、牛乳等の無料配布を実施し、牛乳・乳製品の消費拡大につながるPR活動にも努めました。

最後になりますが、我が青年部が皆様の先頭に立ち、一層の酪農発展に努めて参りますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

宗谷南農協青年部

部長 山崎 紀幸

副部長 後藤 亮介

副部長 佐藤 良介

理事 有吉 里生

理事 戸澤 慧

監事 高橋 慶大

監事 榊原 孟



令和8年の新年ご挨拶



JA宗谷南女性部
部長 樋口 睦美

新年あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、日頃より女性部の活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、酪農を取り巻く環境は、地球温暖化による猛暑や豪雨に加え、長引く円安やウクライナ情勢の影響による物価高騰、資材価格の高騰、さらには国際的な食料需給の不安定化など、農業経営に大きな影響を与える一年となりました。

このようなコスト増加により、安定供給を維持するため生乳価格は上昇しましたが、一方で需要拡大が大きな課題となっております。

そのような中、私たち女性部の活動につきましては、部員の減少が続いておりましたが、新たに1名の部員を迎えることができました。今年からは「すずらんグループ」「すみれグループ」と二つのグループを立ち上げ、世代層別にそれぞれが思い思いの活動を行って

また、初の試みとして中山間事業を活用し、環境美化の取り組みとして町内の小・中学校への花の配布や、部員への花の配布を実施いたしました。

さらに、一昨年は実施が叶わなかった青年部・女性部・乳牛改良同志会による合同企画「デイリーフェア」も春に開催することができ、子どもたちが牛と触れ合う機会を通じて、命の尊さや食への感謝を伝える活動を行いました。今後も継続していきたいと考えております。

昨年は、初の女性による内閣も誕生いたしました。私たち女性も、女性ならではの力を生かし、生産者として、また消費者として、酪農経営や女性部の活動に活力をもたらし、さらなる発展へとつなげていきたいと存じます。

昨年は至らぬ点多々ございましたが、本年も女性部のさらなる発展を目指し、皆様には一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、部員の皆様、組合員の皆様、そしてそのご家族の皆様が、健康で穏やかな一年を過ごされますことを心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

宗谷南農協女性部

部長 樋口 睦美

副部長 山崎 美和子

理事 菊池 静子

監事 戸澤 宏美

監事 中野 智美





他 職員一同

組 合 長 真 壁 哲 也	副 組 合 長 有 吉 里 生	理 事 井 出 康 太	理 事 辻 裕 三	理 事 川 上 雅 弘	理 事 重 松 良 平	事 田 辺 谷 初 男	事 安 井 一 晃	代 表 監 事 山 崎 紀 幸	監 事 山 崎 紀 幸
---------------------------------	--------------------------------------	----------------------------	-----------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	-----------------------	--------------------------------------	----------------------------

**宗谷南
酪農ヘルパー利用組合**
あけましておめでとう
本年も宜しくお願いします
ごさいます



他 職員一同

組 合 長 高 橋 慶 大	副 組 合 長 関 口 真 也	理 事 井 上 英 之	理 事 神 原 孟	代 表 監 事 今 賢 二	監 事 松 田 司
---------------------------------	--------------------------------------	----------------------------	-----------------------	---------------------------------	-----------------------

**宗谷南
乳牛検定組合**
あけましておめでとう
本年も宜しくお願いします
ごさいます



会 長 向 井 地 信 之	副 会 長 大 塚 悟	副 会 長 真 壁 哲 也	監 事 政 木 大 治	監 事 山 岸 也 須 彦
---------------------------------	----------------------------	---------------------------------	----------------------------	---------------------------------

**宗谷南
乳買改善協議会**
あけましておめでとう
本年も宜しくお願いします
ごさいます

昨年中は組合員皆様のひとかたならぬご理解、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。今年も自己研鑽を重ねて知識と技術の向上を図り、コントラ部門、育成牧場部門共に、組合員皆様の一助となるよう努力して参ります。また搾乳部門では、第1次産業の衰退を防ぐ為、乳量の確保や将来枝幸町へ就農する担い手の受入先としての役割を果たして参ります。

何卒、昨年と変わらぬご利用・ご活用を賜りますようお願い申し上げます。皆様におかれましても、健康で稔り多い年であります様ご祈念申し上げます。

枝幸郡枝幸町幸町8121番地3

株式会社 アグリサポート枝幸

代表取締役 向井地 信之
専務取締役 安部 正昭
常務取締役 村上 貞道
取締役 松本 巧
監査役 石川 利明

他 従業員一同



【年末年始の業務体制のお知らせ】

何時も、農協各事業に対しまして、特段なるご理解と、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
 今年も残すところあと僅かとなってまいりましたが、当組合の年末年始の業務体制については、下記の通りとさせていただきますので
 お間違えの無いようお願い致します。
 なお、各部署の詳細は、別途ご案内致します。(金融共済業務・生産資材業務・販売業務・授精業務・生乳検査業務・生乳検査業務)

月 日	曜日	事務所	金融共済業務	販売業務	授精業務	生乳 検査センター	資材店舗	スタンド	歌登代行店 西澤商事	Aコープ	
12月30日	火	通常業務/仕事納め									
12月31日	水	休日	休日	休日	休日	通常業務	休日	店頭のみ 8:30～12:00	営業 7:00～16:00	営業 10:00～17:00	
1月1日	木	休日	休日	休日	休日	休日	休日	休日	営業 8:00～12:00	休日	
1月2日	金	休日	休日	休日	休日	通常業務	休日	休日	休日	休日	
1月3日	土	休日	休日	休日	業務 (最終受付8:50) 午前のみ	通常業務	休日	休日	休日	休日	
1月4日	日	休日	休日	休日	通常業務	通常業務	休日	店頭のみ 9:00～17:00	休日	休日	
1月5日	月	休日	通常業務	休日 (手続牛運搬待機)	通常業務	通常業務	休日	店頭のみ 9:00～17:00	営業 7:00～16:00	休日	
1月6日	火	仕事始め/通常業務									休業 (梱卸作業の為)

※スタンドは12月31日、1月4、5日は、店頭のみ営業となります。

※西條店ATMは、1月1日以外はご利用できます。(31日は西條営業時間まで稼働)

※Aコープ店ATMは、12月31日から1月5日まで店舗休業の為、ご利用できません。

(12月30日は10:00～17:00まで、1月6日は店舗休業ですが10:00～17:00までご利用できます。)

ATM・JAネットバンクなどの

JAバンクを
ご利用のお客さまへ

サービスを一時休止させていただきます。

2026

1 / 11 日
「終日」

2026

1 / 12 月・祝
「終日」



©よりぞう

現金のお引き出しはお早めに

休止期間中は現金のお引き出しができませんので、
あらかじめ現金をお引き出しいただく等のご準備をお願い申し上げます。

JAバンクを装った

フィッシングメールに

ご注意ください!



JAバンク

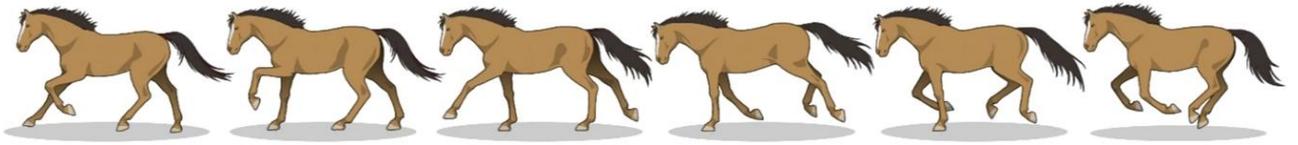
[対象地域]

都道府県によって休止日・時間が異なります

北海道、宮城県、秋田県、山形県、
福島県、栃木県、埼玉県、東京都、
神奈川県、石川県、山梨県、
長野県、岐阜県、愛知県、滋賀県、
大阪府、兵庫県、鳥取県、島根県、
高知県



2026 令和8年 午年(丙午)



丙午(ひのえうま)とは？

十干(じっかん)の「丙」と十二支(じゅうにし)の「午」が組み合わさった干支の一つで、60年に一度巡ってきます。火の要素を二重に持つことから、情熱や強さを象徴するとされます。直近の丙午年は1966年(昭和41年)で、その年の生まれた方は、現在58~59歳前後です。



「午」の意味は？

「午」は十二支の7番目で、動物の馬に当てはめられています。古代では「馬」が生活の要であり、健康や豊作、発展の象徴でもありました。また「午」の字は、餅をつく道具の動きに由来し、交差や転換を意味します。このことから「午前」「午後」のように時間の区切りにも使われています。

丙午年生まれの有名人(1966年生まれ)

【女性】

- ・小泉今日子・斉藤由貴・鈴木保奈美
- ・国生さゆり・秋篠宮妃紀子さま
- ・三田寛子・松本明子・早見優
- ・石川秀美・荻野目洋子

【男性】

- ・東山紀之・長嶋一茂

「花の82年組」と呼ばれる多くの女性芸能人がおり、特に丙午の女性は「気性が激しい」という迷信もあり活躍する女性が多いのが特徴です。

午年生まれの特徴・性格

- ・行動力と決断力：思い立ったらすぐに行動に移し、チャンスを逃しません。
- ・明るさと華やかさ：社交性で人気者、人を惹きつける魅力があります。
- ・独立心と責任感：人に頼らず自分の力でやり遂げる強い意志を持ちます。
- ・コミュニケーション能力：話し上手・聞き上手で交友関係も広い。
- ・注意点：勢いが強すぎるため、早とちりや独

これまでの午年はどんな景気だった？(赤の年は丙午)

- 1930年(S5年)：世界恐慌のあおりで日本も不況の波が押し寄せた
- 1942年(S17年)：戦争の真っただ中、激動と呼ばれる状態にあった
- 1954年(S29年)：「神武景気」が始まり高度経済成長の波に乗り「もはや戦後ではない」という言葉が出た
- 1966年(S41年)：前年の「証券不況」から脱却し、高度経済成長期の本格的な拡大となり「いざなぎ景気」と呼ばれた
- 1978年(S53年)：成田空港が開港し第一次オイルショック後の景気回復期にあり、高度成長期ほどの勢いはないが着実に経済は回復している
- 1990年(H2年)：バブル景気の真っ最中だったが陰りを見せ始めており翌年から崩壊に至る
- 2002年(H14年)：小中高が完全週休2日制となる「ゆとり教育」がスタートした
- 2014年(H26年)：アベノミクス下で経済の好循環の形成が試みられた年で、日本人3人がノーベル賞を受賞した
- 2026年(R8年)：はて？、さて？どんな年になるのかな？

【午年の人と相性の良い干支は？

寅年・未年・戌年の方々です

- ※寅年との相性：お互いが適度に距離をとることが出来るためストレスなく一緒にいられる存在
- ※未年との相性：馬と騎手のように信頼し合い、最大の力を発揮し合える関係性
- ※戌年との相性：自分に無い部分を尊敬し、尊重できる間柄になりやすい

【午年の人と相性が良くない干支は？

子年・丑年・酉年の方々です

- ※子年との相性：お互いの思いを伝えあってもそもそもの考え方が違い理解が進みません
- ※丑年との相性：お互いのペースに巻き込もうとしても流されないのがイライラし、ぶつかりやすい
- ※酉年との相性：お互いが大切にしたいものが違

十二支順番エピソード



十二支の順番は、「元旦に動物たちがレースをし、神様のもとにゴールした順番」で決まったらしい？

そして由来としても有名なこの物語は以下のような内容らしい？

昔々、神様が動物たちに「元旦の朝に挨拶に来た順に1年ずつその年の代表にする」と告げられそれを聞いた動物たちは、少しでも早く神様のもとへたどり着こうと張り切って準備を始めた。ところが、猫は日程を聞きそびれてしまい、ねずみに訪ねたところ、ねずみはわざと1日遅れの日を伝えました。それを信じた猫は出発せず競争に加われませんでした。

一方、ねずみは自分の足が遅い事を見越して前日のうちに出発していた牛の背中にこっそり乗って移動しました。そして神様の前に着く直前に牛の背中から飛び降りて先に到着し見事1番になりました。

こうして順番は、「ねずみ、うし、とら、うさぎ・・・」と続いていき、ねずみが最初に、牛が2番となりました。

子、牛の後に来た虎、兎、龍、蛇、馬、羊、猿、鳥、犬、猪の12匹が今の干支として定められました。

ちなみに、レースに参加できなかった猫は、ねずみを恨み、今でも追いかけていると語り継がれています。

この物語は、中国、朝鮮半島、モンゴル、中央アジア、ロシアといった十二支を用いる国にも伝わっているそうです。

それぞれ動物たちに関するエピソードを以下にまとめています。

十干(じっかん)

甲	きのえ
乙	きのと
丙	ひのえ
丁	ひのと
戊	つちのえ
己	つちのと
庚	かのえ
辛	かのと
壬	みずのえ
癸	みずのと

十二支(じゅうにし)

子	ね(ずみ)
丑	うし
寅	とら
卯	う(さぎ)
辰	たつ
巳	み=へび
午	うま
未	ひつじ
申	さる
酉	とり
戌	いぬ
亥	いのしし

第1位 子 牛の出発に便乗しこっそり背中に乗り、ゴール目前で飛び降り1番乗り。知恵を使って見事トップとなりました。

第2位 丑 足の遅さを自覚していたので、前夜からの出発。ゴール目前でねずみに出し抜かれたものの穏やかな性格で結果に納得。

第3位 寅 足の速さに自信がある虎には、日の出と同時に勢いよくスタート。ただし出発が遅かったため、牛とねずみに先を越され3位になった。話を半信半疑で聞いていたため、本気を出していなかったという説もある。

第4位 卯 途中で立ち止まることなく、ぴょんぴょん跳ねて着実に進んだうさぎ。その努力が実り、4番目に到着しました。

第5位 辰 神聖な存在とされる龍は、空を飛びながらやってきました。蛇とほぼ同時に着いたものの蛇が龍に敬意を示して順番を譲ったという話もあります。

第6位 巳 龍と並ぶ形で神様のもとに現れましたが、順位はあえて一步下がって6位に。謙虚な判断が印象的なエピソードです。

第7位 午 足は速いもののあちこちで道草を食ってしまい7位に。のんびり屋な一面が垣間見えます。

第8位 未 道に迷いながらも、コツコツと進み無事に到着。マイペースながらもゴールを果たして8番手となりました。

第9位 申 犬と仲良く旅していたものの途中でケンカに発展。鳥が仲裁してくれたことで、なんとか9位でゴールしました。

第10位 酉 猿と犬の争いに巻き込まれながらも、間に入って仲直りさせ、10番目に神様の前にたどり着きました。

第11位 戌 ケンカの影響で遅れたものの鳥の助けもあり何とか11位に。「犬猿の仲」の由来にもなった。

第12位 亥 実は誰よりも早く着いたものの、一直線に突っ走って通り過ぎてしまい、戻ってきたころにはすでに遅く、勢い余った未の12位でした。

このレースでのエピソードにより十二支の順番が決まったようです。？

2026年(令和8年)最強・最重要の開運日、果たして…?

- ㊦ 3月5日(木) 天赦日・一粒万倍日・寅の日・大安が重なる**奇跡の最強日**
- ㊦ 5月18日(月) 大安・一粒万倍日・大明日が重なる、入籍にも最適な日
- ㊦ 10月1日(木) 天赦日・一粒万倍日が重なる(六曜では仏滅だが…)日
- ㊦ 12月16日(水) 天赦日・一粒万倍日が重なる日

縁起のいい日は…新しい事を始めたり、大きな買い物したり、金運アップ
人生の節目などなど「信じるものは救われる!!」

戦後の景気を日本神話をなぞる形で名付けられた景気あれこれ

・神武景気(じんむけいき)

- *時期:1954年12月~1957年6月(約31ヵ月) S29.12~S32.6
- *由来:日本の初代天皇である**神武天皇の即位**(紀元前660年)以来の好景気という意味で名付けられました。高度経済成長の始まりを告げ「もはや戦後ではない」という言葉で知られています。

・岩戸景気(いわとけいき)

- *時期:1958年7月~1961年12月(約42ヵ月) S33.7~S36.12
- *由来:神武景気を上回る好景気として、神武天皇よりさらに遡り、**天照大神が天の岩戸に隠れた神話**にちなんで、「天の岩戸隠れ以来」の意味で命名されました。三種の神器(白黒テレビ、冷蔵庫、洗濯機)の普及が特徴です。

・いざなぎ景気(いざなぎけいき)

- *時期:1965年11月~1970年7月(約57ヵ月) S40.11~S45.7
- *由来:神武景気、岩戸景気をさらに上回る長期の好景気として、日本神話で国を生みを行った**伊弉諾尊(いざなぎのみこと)**にちなみ、「国造り以来」の意味で名付けられました。神武天皇や天照大神よりもさらに古い、日本創世の神話に由来

HAPPY NEW YEAR

旧年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願いたします。

